

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP)

for Promoting International Education

「さわやかスクール青陵」プロジェクト

～地域と学校の文化を継承し、自ら活動する生徒の育成～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、豊橋市の北東部に位置し、校区には豊川や朝倉川が流れる自然に恵まれた学校である。生徒は、四つの小学校から本校に入学してきており、創立以来 66 年にわたって、多くの生徒が学び、卒業していった歴史と文化の伝統ある学校である。

その文化的な活動の中で、現在も引き継がれている代表的なものが、二つある。それは、「夏みかん並木」と「応援団」に関する活動である。

「夏みかん並木」とは、通称「青陵街道」と呼ばれる主要道路の両側に、昭和 36 年に本校生徒の手によって植樹された、38 本の夏みかんに端を発する。現在は、約 60 本が残っているが、最盛期には約 200 本が植えられていた。夏は木陰を作り、冬には黄色い実をつける「夏みかん並木」は、地域の景観を美化し、地域の人々の心を和ませてきた。生徒達は、これらの夏みかんの管理、維持、収穫などを行ってきている。

また、「応援団」は、20 年前に作られたものである。生徒が自主的に集まり、学校行事の中で、応援という集団パフォーマンスを行う。約 100 名の生徒による演舞は、統一性があり、鮮やかで迫力がある。毎年、新たな団員を募り、絶えることなく現在まで続けられてきた。

これらの活動を通して、生徒達は、地域の一員として活動することの楽しさ、学校の一員として活動することの充実感を味わうことができる。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、「夏みかん並木」の活動を通して地域への帰属意識を、「応援団」の活動を通して母校への愛着心と地域への感謝の気持ちを育てたいと考える。これらの伝統的な文化を継承し、発展させていくことをめざして、生徒会や実行委員会が、実際の活動を、企画・運営することで、生徒の自主性を育て、自ら活動できる生徒の育成をめざしたいと考えた。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、生徒会主体の「夏みかん並木」の活動、および生徒の自主的な「応援団」の活動を以下のように実施している。

「夏みかん並木」の活動については、生徒会活動の一環として、環境委員会が中心になって諸活動を行っている。環境委員会は、調査や立案を行うだけでなく、全校生徒や他の

委員会に呼びかけてボランティアを募り、夏みかん並木の維持に努めている。さらに、収穫した夏みかんは、りんご並木が縁で交流のある「飯田市立飯田東中学校」に送ったり、校区の福祉施設の「さわらび荘」に届けたりしている。この交流によって、生徒は自然との共存意識を高め、郷土を愛する気持ちを高めている。

「応援団」の活動について、行事での演舞を披露の場として、自主的な練習を重ねている。また、地元の愛知大学の応援団員との交流や、先輩から後輩への継承式も実施している。平成23年度より、青陵祭（文化祭）で、応援団が中心となって、全校生徒による応援演舞を実施し、地域の方や保護者に演舞の披露をしている。これらの演舞を行うことで、青陵中学生としての自覚と愛校心を高めている。

<活動スケジュール>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夏みかん並木	<全校> ・広報 ・ボランティア募集（除草・清掃） ・広報 ・収穫 ・広報 <委員会> ・活動計画立案 ・調査 ・調査 ・収穫計画立案 ・各所に贈呈 ・除草 ・除草 ・除草 ・枝打ち ・施肥 ・収穫 ・施肥 ・清掃 ・清掃											
応援団	<演舞披露> ○体育祭 ○選手激励会○選手激励会○青陵祭 ○入学説明会 (継承式) <全校> ・応援歌練習 ・1年生募集 ・全校練習 ・学年練習 <応援団> ・練習 ・練習 ・練習 ・練習 ・練習 ・愛大生との合同練習											

<「夏みかん並木」に関する活動の記録>



青陵街道での夏みかん収穫の様子
(環境委員会)



福祉施設への夏みかん贈呈の様子
(生徒会執行部)

< 「応援団」に関する活動の記録 >



体育祭での応援団演舞の様子

(応援団員)



青陵祭での全校応援の様子

～地域の方・保護者に見守られて～

(全校生徒)

Type of materials to be used (使用する教材)

「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」

愛知県教育委員会 平成 23 年 6 月

「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」

文部科学省 平成 22 年 1 月

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

1 評価の観点

- ・ 「地域の自然」や「青陵中の文化」に対する認識の深まり
- ・ 「地域の一員」及び「青陵中生」としての自覚
- ・ 「地域の一員」及び「青陵中生」として行動する態度

2 評価の方法

活動の実施前と実施後の生徒の意識の変容を、活動後のまとめや振り返りによって評価する。また、活動への取り組みの様子や、行事での成果の発表から、意欲や態度を観察し、評価する。

さらに、行事後の生徒や教職員を対象にしたアンケートや、年 2 回実施される、生徒、保護者、教職員を対象にした学校アンケートの各項目から判断する。学校評議員会による評価も参考にする。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

31/Mar./2014

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) 校長

Institution's name (学校名)

豊橋市立青陵中学校